

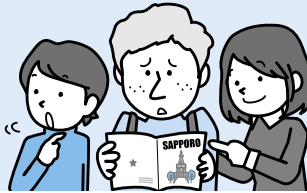
こんなに簡単！おもてなし

街を訪れる方にとって、その街の印象の決め手となるのは、美しい景色やおいしい食事はもちろんですが、そこに住む人たちとのちょっとしたふれあいが大切だといわれています。「札幌にまた来たい」と思ってもらえるように、ぜひ、笑顔で接してみましょう。

まずはこんなことから始めてみては

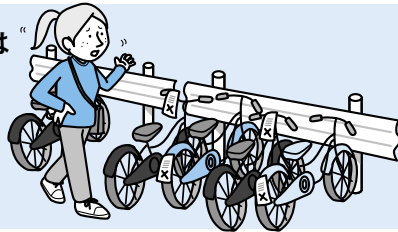
声を掛けよう！

- 地図を見ている人や、道に迷っていそうな人を見掛けたら、積極的に声を掛けましょう（言葉は通じなくても身ぶりや手ぶりで説明してみましょう）
- 記念写真は進んで撮ってあげましょう



街をきれいに快適に！

- ごみやたばこのポイ捨ては絶対にやめましょう
- 自転車は決められたところに駐輪しましょう



札幌の魅力は人の温かさ

日本各地に住んだ経験がありますが、札幌の人はとても親切ですね。道に迷ったときも、詳しく説明してくれて感激しました。

札幌の人は礼儀正しく温かいのですから、もっと気軽に外国人にも話し掛けてみてはどうでしょう。皆さんの人柄の良さが伝われば、訪問者にとって札幌はより魅力ある街に思えるはずですよ。

4月に中国から来た国際交流員

まにん 馬寧さん



市民が一体となったおもてなしが始まっています

サミットに合わせ、市では商店街や企業・市民団体などと共に「札幌おもてなし委員会」を立ち上げ、来札する訪問者を歓迎するための取り組みを始めています。

札幌おもてなし隊の結成

サミット開催に向け、今年1月に市内の大学生らが結成。現在のメンバーは50人を超えます。期間中は、浴衣姿や仮装で外国人と交流するなど、学生ならではのアイデアで訪問者を迎えます。

札幌おもてなし隊代表 北海道大学大学院1年 成田よしき 吉希さん



「札幌ファンを増やしたい」。そんな思いから隊を立ち上げました。大通公園案内ツアーやすぐに使える日本語教室など、ふれあいを大切にした企画を考えています。

学生なのでお金はありませんが、発想力と行動力で、訪れた人の心に残るようなおもてなしをし、すてきな札幌の思い出を持ち帰ってもらいたいですね。

おもてなしの拠点を強化・拡大

サミットの期間中、JR札幌駅西口コンコース内に通訳ボランティアによる案内コーナーを置くほか、書道などの日本文化を市民と共に体験できるスペースを作ります。また、大通公園の観光案内所にも通訳ボランティアを配置し、訪問者と交流できる場所を設けます。



札幌駅の案内コーナーと文化体験スペースのイメージ図

ほかにもこんな取り組みが

- 市民によるごみ拾いや落書き消し運動
- 市内の飲食店で外国人向けに道産食材などを使ったメニューを用意
- 地下鉄主要駅に外国語の通訳ボランティアを配置 ほか

おもてなしの仕方は人それぞれです。皆さん自身の方法を考えて実践してみてください。サミットをきっかけに札幌のおもてなしを向上させましょう！

サミットや、おもてなし委員会については、ホームページでも紹介しています。 www.city.sapporo.jp/summit
6月10日(火)にサミットに関するセミナーを開催します。詳しくは市コールセンター ☎ 222-4894へお問い合わせを。